

表20 働きながら通学することの切実な問題点

	准看護婦(士) 養成所	高等学校 衛生看護科	3年課程	看護短期大学	4年制大学
睡眠不足	124 (8.9)	5 (8.1)	4 (3.3)	0 (—)	1 (2.2)
翌日まで疲れが残る	146 (10.4)	2 (3.2)	5 (4.1)	1 (2.8)	0 (—)
職場の人間関係で気を使う	234 (16.7)	10 (16.1)	8 (6.5)	0 (—)	0 (—)
自分の時間がない	303 (21.7)	13 (21.0)	13 (10.6)	0 (—)	0 (—)
勉強がおろそかになる	299 (21.4)	8 (12.9)	5 (4.1)	0 (—)	0 (—)
体調を崩しやすい	102 (7.3)	5 (8.1)	1 (0.8)	0 (—)	1 (2.2)
その他	46 (3.3)	1 (1.6)	1 (0.8)	0 (—)	1 (2.2)
無回答	145 (10.4)	18 (29.0)	86 (69.9)	35 (97.2)	43 (93.5)
合計	1,399 (100.0)	62 (100.0)	123 (100.0)	36 (100.0)	46 (100.0)

Ⅳ 入学したことの利点とやめようと思ったこと

1. この学校に入学してよかったと思うこと (表21)

この学校に入学してよかったと思うことを3つ選んでもらった。その中で割合が高い項目をみると課程別には若干の差はあるが、全ての課程に共通しているのは「自分が人間的に成長した」という項目である。

課程別に「入学してよかったと思うこと」としてあげている上位3項目をみてみよう。

准看護婦(士)養成所では第1位「看護の知識や技術が身についた」61.4%、第2位「看護の奥深さを知った」44.1%、第3位「自分が人間的に成長した」40.1%であった。

高等学校衛生看護科では第1位「看護の知識や技術が身についた」62.3%、第2位「自分が人間的に成長した」49.3%、第3位「看護の奥深さを知った」44.0%であった。

3年課程では、第1位「自分が人間的に成長した」56.9%、第2位「看護の知識や技術が身についた」54.4%、第3位「信頼できる友人と出会えた」42.5%であった。

看護短期大学では、第1位「自分が人間的に成長した」56.4%、第2位「信頼できる友人と出会えた」53.9%、第3位「看護の知識や技術が身についた」47.9%であった。

4年制大学では、第1位「自分が人間的に成長した」52.7%、第2位「視野が広がった」50.5%、第

3位「信頼できる友人と出会えた」42.9%であった。

2. 学校をやめようと思ったこととやめないでいられた理由（表22）

「学校をやめようと思ったことがある」と答えているのは、課程別にみると3年課程でその割合は73.1%と特に高い。

やめようと思った理由は、どの課程も「自分の性格が看護職に向いていないと思った」と答えている割合が最も高く、46.0%から70.8%である。また「これから自分が何をしていたらよいかわからなくなった」と答えている割合が32.4%から45.8%と高いが、これは青年期にありがちなことである。しかし「体がもたないと感じた」32.4%、「仕事と通学との両立に限界を感じた」41.1%という割合は准看護婦（士）養成所に多く、働きながら学ぶことの苦労を特徴的に物語っている。

やめようと思ったときやめないでいられた理由で割合が高い項目は「自分の力で乗り切った」が22.7%から34.8%、「時間が解決してくれた」が22.7%から32.3%であった。

表21 この学校に入学してよかったと思うこと（複数回答）

	准看護婦(士) 養成所	高等学校 衛生看護科	3年課程	看護短期大学	4年制大学
看護の知識や技術が身についた	991 (61.4)	397 (62.3)	719 (54.4)	79 (47.9)	71 (38.6)
自分が人間的に成長した	647 (40.1)	314 (49.3)	751 (56.9)	93 (56.4)	97 (52.7)
信頼できる友人と出会えた	462 (28.6)	271 (42.5)	562 (42.5)	89 (53.9)	79 (42.9)
信頼できる教員と出会えた	123 (7.6)	27 (4.2)	40 (3.0)	14 (8.5)	8 (4.3)
視野が広がった	574 (35.6)	251 (39.4)	464 (35.1)	71 (43.0)	93 (50.5)
やりがいを見いだせた	322 (20.0)	118 (18.5)	171 (12.9)	11 (6.7)	27 (14.7)
看護の奥深さを知った	711 (44.1)	280 (44.0)	477 (36.1)	54 (32.7)	65 (35.3)
チームワークの大切さを知った	263 (16.3)	73 (11.5)	170 (12.9)	18 (10.9)	18 (9.8)
その他	28 (1.7)	8 (1.3)	24 (1.8)	3 (1.8)	4 (2.2)
回答者数	1,614 (100.0)	637 (100.0)	1,321 (100.0)	165 (100.0)	184 (100.0)

1992年 看護学生の進路選択に関する調査

表22 学校をやめようと思ったこととやめないでいられた理由

	准看護婦(士) 養成所	高等学校 衛生看護科	3年課程	看護短期大学	4年制大学
やめようと思ったことがある	910 (56.4)	315 (49.5)	966 (73.1)	96 (58.2)	88 (47.8)
やめようと思ったことはない	693 (42.9)	314 (49.3)	333 (25.2)	63 (38.2)	94 (51.1)
無回答	11 (0.7)	8 (1.3)	22 (1.7)	6 (3.6)	2 (1.1)
合計	1,614 (100.0)	637 (100.0)	1,321 (100.0)	165 (100.0)	184 (100.0)

→ やめようと思った理由 (3つまで○)

看護の職場に魅力がないと思った	122 (13.4)	38 (12.1)	140 (14.5)	17 (17.7)	17 (19.3)
自分の性格が看護職に向いていないと思った	419 (46.0)	175 (55.6)	589 (61.0)	68 (70.8)	57 (64.8)
実習で落ち込んだ	224 (24.6)	95 (30.2)	461 (47.7)	42 (43.8)	25 (28.4)
講義内容がつまらなかった	29 (3.2)	20 (6.3)	59 (6.1)	12 (12.5)	19 (21.6)
友人関係がうまくいかなかった	69 (7.6)	41 (13.0)	69 (7.1)	4 (4.2)	6 (6.8)
実習先の看護職がいやだった	142 (15.6)	39 (12.4)	200 (20.7)	17 (17.7)	17 (19.3)
自分の能力の限界を感じたとき	247 (27.1)	100 (31.7)	335 (34.7)	29 (30.2)	24 (27.3)
これから自分が何をしていたらよいかわからなくなった	295 (32.4)	137 (43.5)	342 (35.4)	44 (45.8)	30 (34.1)
教員への不満	102 (11.2)	59 (18.7)	177 (18.3)	3 (3.1)	9 (10.2)
体がもたないと感じた	295 (32.4)	55 (17.5)	197 (20.4)	23 (24.0)	10 (11.4)
仕事と通学との両立に限界を感じた	374 (41.1)	26 (8.3)	21 (2.2)	0 (—)	0 (—)
その他	149 (16.4)	45 (14.3)	87 (9.0)	9 (9.4)	11 (12.5)
回答者数	910 (100.0)	315 (100.0)	966 (100.0)	96 (100.0)	88 (100.0)

→ やめないでいられた理由 (複数回答)

時間が解決してくれた	216 (23.7)	93 (29.5)	280 (29.0)	31 (32.3)	20 (22.7)
教員の援助があった	62 (6.8)	18 (5.7)	45 (4.7)	4 (4.2)	6 (6.8)
学校の友人の援助があった	193 (21.2)	84 (26.7)	299 (31.0)	25 (26.0)	20 (22.7)
学校以外の友人の援助があった	173 (19.0)	39 (12.4)	169 (17.5)	13 (13.5)	12 (13.6)
家族の援助があった	163 (17.9)	48 (15.2)	171 (17.7)	18 (18.8)	14 (15.9)
自分の力で乗り切った	317 (34.8)	103 (32.7)	315 (32.6)	33 (34.4)	20 (22.7)
その他	75 (8.2)	25 (7.9)	74 (7.7)	4 (4.2)	16 (18.2)
回答者数	910 (100.0)	315 (100.0)	966 (100.0)	96 (100.0)	88 (100.0)